

# 子供たちに伝えたい日本の良さ

## 今月のテーマ 花をめぐる

**日** 本の伝統・文化を代表するものの一つに「華道」があります。「華道」は、植物を含め様々な材料を組み合わせて作品を構成し、鑑賞する芸術です。「花道」と表記されることもあり、また「いけばな」とも呼ばれています。私たちは、花や緑と触れ合うことによって心が和んだり、優しい気持ちになったりするとともに、和の精神やおもてなしの心を高めたりすることができます。本号では「華道」について取り上げます。

### いけばなの歴史

花を見て楽しむという習慣はどの国でもありますが、四季の変化が大きな日本では、それぞれの季節に美しい花があり、古くより日本人は、花に対する感性を磨いてきました。このことは、「万葉集」や「古今和歌集」にも多くの歌の中に花が詠まれていることから分かります。

6世紀になって仏教が日本に伝来すると、それに伴い仏前に花を供える習慣が一般化してきます。平安時代に描かれた日本最古の漫画とも称される「鳥獣人物戯画」にも、仏前に供える花が描かれています。また、この時代の随筆である枕草子には、器に挿した花をめぐるという記述も見られます。当初は既存の器が利用されましたが、後に専用の花器が製作されるようになりました。室町時代の中頃になると、京都六角堂の僧侶である池坊専慶が挿した花が評判になり、この専慶によって挿された花は従来の仏前に供えられた花の域を超えるもので、日本独自の「いけばな」が成立したと言われています。その後、池坊は流派の名前にもなりました。

江戸時代の中期から後期になると、上流階級や武士階級のものであった華道が、庶民もたしなむものへと変化をします。このことが、多くの流派が誕生するきっかけとなります。

日本が開国をした江戸末期から明治初期にかけて、欧米諸国にいけばなが紹介されました。浮世絵がゴッホなどの画家たちに影響を与えた話は有名ですが、西洋のフラワーアレンジにも、日本のいけばなが影響を与えたと言われています。



【浮世絵：「河原崎権十郎」】  
(都立中央図書館特別文庫室所蔵)

### いけばなの流派

「いけばな」には様々な流派があります。流派は家元に支えられ、技の伝承がなされてきました。18世紀後半から、次々新しい流儀が生まれ、流派意識が高まりました。平成27年12月31日現在、「公益財団法人 日本いけばな芸術協会」には、三大流派と呼ばれる「池坊」、「小原流」、「草月流」をはじめ、約300の流派が登録されています。



【池坊】

550年以上の歴史を持つ華道家元です。「道」としての精神性を高め、時代の流れに応じて花形を発展させてきました。



【小原流】

明治の中頃、小原雲心（おはらうんしん）によって創流されました。「盛花」を考案し、近代いけばなの礎を築きました。



【草月流】

1927年、勅使河原蒼風（てしがはらそうふう）によって創流されました。草月流のいけばなは、形式にとらわれず、自由で個性を尊重します。

### 花育～花や緑を介した取組～

農林水産省が文部科学省等と連携して推進している取組に「花育」があります。「花育」には、子供たちが花や緑に親しみ、その美しさや優しさを感じることによって情操面を育むことや、地域及び世代の異なる方々との交流を通じた地域とのつながりの深まりが期待されています。

学校では、生活科や理科をはじめ、授業の中で花や緑に触れるほか、学校や地域の花壇を花いっぱいにする「花いっぱい運動」などの活動が行われています。また、伝統・文化理解教育の取組として、華道に造詣の深い地域の専門家を招いて、いけばなやフラワーアレンジ等の体験活動も行われています。なお、今年度の「伝統・文化教育推進校」250校のうち、60校が華道の取組を計画・実施しています。



【都立小石川中等教育学校 華道部の活動】

## いけばなについて学べる施設

### いけばな資料館

【内 容】 いけばな資料館では、550年以上の歴史を有するいけばなに関する資料や、池坊が住職を務める六角堂（頂法寺）の什物などを、常時展示しています。展示資料には、花伝書、花器、いけばなの絵図、門弟から寄進された工芸品、六角堂の古文書、池坊会館建設に伴う発掘調査の出土品などがあります。時代の流れに沿った展示のほか、特定のテーマに基づく展示コーナーも設けており、年に一回展示替えを行っています。

【利用時間】 午前9時から午後4時まで

【休 館 日】 土曜・日曜・祝日・年末年始・お盆期間

【場 所】 京都府京都市中京区六角通東洞院西入堂之前町 池坊3階

【電 話】 075-221-2686  
(午前9時から午後5時まで ※土曜・日曜・祝日を除く)

【F A X】 075-252-1325

【観 覧 料】 無料(4月・11月の行事期間中は有料) 予約制  
※ 池坊の行事である「春のいけばな展」(4月)、「旧七夕会池坊全国華道展」(11月)の期間中は予約不要です。

【交 通】 京都市営地下鉄 烏丸御池下車 徒歩約3分



## 日本の伝統・文化について学べる施設

### MOA美術館

【内 容】 創立者岡田茂吉の構想の下、相模灘を見渡す高台に1982年に開館しました。名称は創立者のイニシャルを冠しています。国宝3点、重要文化財66点を含む約3500点の収蔵品を有している美術館です。美術品の展覧だけでなく、能や茶の湯など日本文化の情報発信や、美を楽しむことを通じて豊かな心を育む様々な活動も行っています。2017年2月5日、新素材研究所の設計によりリニューアルオープンしました。

【利用時間】 午前9時30分から午後4時まで(最終入館は午後4時まで)

【休 館 日】 木曜日・展示替日、年末年始

【場 所】 静岡県熱海市桃山町26-2

【電 話】 0557-84-2511(代表)

【F A X】 0557-84-2570

【観覧料(鑑賞券)】 一 般：1,600円  
高 大 生：1,000円  
小 中 生：無料  
シニア割引：1,400円  
障害者割引：800円

【交 通】 JR熱海駅より、バスターミナル8番乗り場「MOA美術館」行き「MOA美術館」下車



## 伝統・文化に関するイベント等

### ★ 都立中央図書館

#### ○人文科学情報ミニ展示「花鳥の美」

【期 間】 平成29年1月13日(金)から3月1日(水)まで

【場 所】 人文科学系資料・閲覧室(3階)

【内 容】 今年は酉(とり)年です。花鳥画は中国や日本において、古くから主要な画題として描かれてきました。新年の干支にちなみ、鳥や花の絵画資料を中心に展示します。花鳥の美しい絵を御堪能ください。

### ★ 生活文化局

#### ○キッズ伝統芸能体験発表会

【内 容】 約300人の子供たちが、お稽古の成果を発表会で披露します。

本格的な舞台演出、迫力のプロ実演、そして、親しみやすい案内トーク。「とても楽しく勉強になった!」と毎年好評の発表会です。発表会はプログラムの受講生やその御家族でなくても御覧いただけます。「伝統芸能ははじめて」という方も、この機会に是非お越しください。  
<http://www.geidankyo.or.jp/kids-dento/>

【料 金】 入場無料・事前申込制(平成29年2月24日までにメールかFAXでお申し込みください。)

【メー ル】 [wageiko@geidankyo.or.jp](mailto:wageiko@geidankyo.or.jp)

【F A X】 03-5909-3061

#### ◆能楽

【期 間】 平成29年3月20日(月・祝) 午後1時から午後5時30分まで

【場 所】 宝生能楽堂(最寄駅:水道橋駅)

#### ◆長唄・三曲・日本舞踊

【期 間】 平成29年3月30日(木)

第1部:午前11時から午後1時30分まで 第2部:午後3時から午後5時30分まで

【場 所】 国立劇場 大劇場(最寄:半蔵門駅・永田町駅)

### 【テーマにおける引用・参考文献資料、写真提供】

- 一般財団法人 池坊華道会(学校華道に直結) <http://www.ikenobo.jp/>
- 一般財団法人 小原流 <http://www.ohararyu.or.jp/>
- いけばな草月流 <http://www.sogetsu.or.jp/>
- 都立中央図書館 <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【担当】 東京都教育庁指導部指導企画課  
電 話 03-5320-6869  
ファクシ 03-5388-1733